



すゝめ

患者さんと慶應義塾大学病院をつなぐ
コミュニケーションシヨンマガジン

K E I O
UNIVERSITY
HOSPITAL
Communication
Magazine

Vol. 09
November 2019

ご自由に
お持ちください



いつまでも美味しく食事をしていただくために

歯科・口腔外科は、お口の中にある組織、歯とそれを支える骨や粘膜にできる病気を担当しています。耳鼻咽喉科、形成外科など多くの診療科とともに、“美味しく食べる”という、とても基本的で大切な機能を維持していただけるように日々取り組んでいます。

広報誌タイトル「すゝめ」とは

タイトルは明治5年から9年にわたって出版された17編を数える福澤諭吉の大ベストセラー『学問のすゝめ』に因んでいます。



歯科・口腔外科 歯科医師
なかがわ たねあき
中川 種昭

口は、あらゆる病気と 密接に関わる重要な臓器

—口腔ケアは命を救う—

ています。口が不潔になると細菌の量が増加して、それが全身に悪影響を与えます。さらに、全身麻酔手術を受ける患者さんでは、口を清潔な状態に保つことにより入院期間が短くなり、合併症を防止できることがわかっています。このため、口を清潔な状態に保ち、機能を維持する「口腔機能ケア」を各診療科や看護師、衛生士と連携して行うことが大変重要になります。また、がんや白血病による化学療法や放射線療法、造血幹細胞移植では、副作用として口内炎や菌血症が出現し、時として命に関わる合併症を引き起こすことがあります。このような状態を予防・緩和し、満足できるお食事を取るためにも口腔環境を整えることが重要です。このように私たちは、口腔疾患の治療のみならず、腫瘍センターや病棟、ICUなどでの口腔ケアを通して命を守るお手伝いをしています。お口は生きていくために必要な食事の玄関口です。慶應病院では、多くの診療科とそこで仕事をする多職種の方々のご協力をいただきながら、いつまでも美味しい食事をしていただけるように日々の診療に取り組んでいます。



歯科・口腔外科は、口の中やあごに生じる疾患を扱う口腔外科部門と、歯の治療を行う歯科部門が協力して、お口全体の問題の解決にあたっています。口腔外科では、炎症や外傷、腫瘍、あごの骨の変形、粘膜症状など口の中に生じる多彩な疾患を担当しています。歯科では主に全身状態に心配のある方のむし歯、歯周病、入れ歯を担当し、顎関節疾患や口腔インプラント治療では特に両部門が連携して治療を行います。さらに、全身疾患が関係する治療や隣接組織に接する広範囲な疾患では、麻酔科や内科、耳鼻咽喉科をはじめとする関連診療科と協力し、より安全で精度の高い治療を行っています。たとえば、骨髄炎や口腔がんなどで大きく組織を損なう場合は、形成外科と連携し、体のほかの組織を移植して機能回復を図ります。首やのど、鼻、頭などに近接する疾患では耳鼻咽喉科や脳神経外科、皮膚と粘膜で共通する疾患では皮膚科など、総合病院ならではの連携を生かして形態・機能の回復を目指します。また最近では、全身の健康を保つために口腔環境を整える取り組みを行っています。口の中にはたくさん細菌が常在し

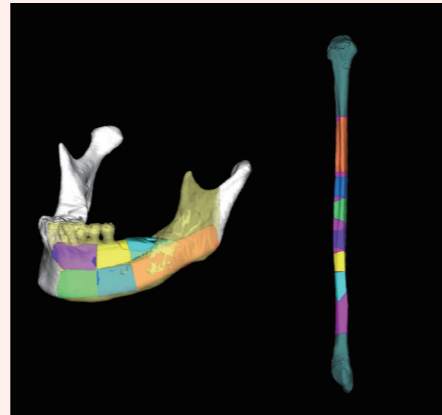
治療と共に、その先の
Quality of Life (生活の質)を
追及する再建外科



形成外科 医師
やざわ まさき
矢澤 真樹

病気やケガで失った 「外見」や「機能」を取り戻す

病気になって、ケガをして初めて、健康であることの尊さを感じられる方は多いと思います。医療機関では、その健康を取り戻すために治療を行っています。時として、治療と引き換えに失ってしまうものがあります。薬の副作用や手術によって失う「外見」や「機能」もそうです。形成外科では、本当の意味で病気やケガを克服したと言ってもらえるように、元の生活を取り戻すための外科的治療を提供しています。子供から大人まで、あらゆる年代を対象に、「外見」や「機能」を重要視して外科的治療を行います。失った「外見」や「機能」を取り戻す外科的治療を「再建手術」と言います。



足の骨を使った下顎再建シミュレーション

例えば、口腔外科領域は、顔貌（外見）に加え、食事（摂食機能）や会話（構音機能）など、生活で最も重要な部分が集中しています。口腔外科手術で舌や顎骨を切除した後は、形成外科のマイクロサージャリーという技術で再建します。顕微鏡下で1mmに満たない血管や神経を繋ぎ、組織を生きたまま移植し、移植先でも機能を維持させます。そして、歯科・口腔外科と共に、最新のシミュレーションを用いた顎形態の再現や微妙な咬み合わせの調整を行い、より完成度を高めています。診療科の垣根を超えたチームが、治療や手術を乗り越えた先の、Quality of Lifeを追及していきます。

血液がんは、様々な種類の抗がん剤を組み合わせて治療を行います。特に、骨髄移植などの造血幹細胞移植では大量の抗がん剤を使用します。抗がん剤はがん細胞だけでなく、正常な細胞にも影響し副作用を起こします。口腔粘膜炎（口内炎）は抗がん剤治療後に頻繁に生じる副作用で、痛みによる諸症状だけでなく、傷ついた粘膜から口の中の菌が侵入することで重篤な感染症の契機となります。適切な保清・保湿による口腔ケアは抗がん剤治療中の口腔粘膜炎の予防や症状緩和につながるため、血液内科病棟では血液内科医師、看護師に加えて、歯科・口腔外科医師、歯科衛生士と協働して患者さんの口腔管理に取り組んでいます。治療前に歯科・口腔外科医師の診察と歯科衛生士によるブラッシング指導を実施し、入院治療中は看護師がケアの実施状況や粘膜の状態を把握し、必要なケアを提案しています。週1回、歯科・口腔外科医師と共に口腔ケアに関する回診を行い、問題点を検討します。また、その結



果は薬剤師や栄養士、理学療法士も含めた多職種カンファレンスで共有し、チームで問題解決を図っていきます。がん治療において口腔ケアを含めた「セルフケア（自分自身をケアすること）」はとても重要です。順調に治療を継続し、大切な人生を御自身の力で歩めるよう私たちは精一杯サポートいたします。

口腔内環境を整えて より安全な抗がん剤療法を



口腔ケアにおけるチーム連携
血液内科病棟

ひろばのすゝめ 医療情報探しのお手伝い

1号館1階1E(救急入口)前にある「健康情報ひろば」では、現在8名のボランティアスタッフが曜日ごとに担当し、患者さんやそのご家族の方のインフォームドコンセントに役立つ、病気や治療に関する情報探しのお手伝いをしています。主な活動内容は、慶應義塾大学病院の医療・健康情報サイト:KOMPASのパソコン検索サポートや印刷サービス、約300種におよぶパンフレットの提供、約600冊の図書や雑誌の閲覧サービスです。

ひろばには広報誌「すゝめ」や、各診療科主催のセミナーのちらし等も設置しており、静かに落ち着いて資料や情報を収集できる環境づくりを心がけています。患者さんやご家族のために病気や検査、くすり、食事や栄養についてのわかりやすい資料をご用意していますので、調べたいことがありましたら、お気軽に健康情報ひろばをご利用ください。



健康情報ひろば ■場 所: 1号館1階1E(救急入口)前
 ■開室時間: 月~金 9時00分~15時00分
 *パンフレットや座席は常時利用可能です。

ボランティアの皆様を支えられて

慶應義塾大学病院のボランティアサークルは、今年で46年を迎えます。1970年にロサンゼルスで開催された「第1回ボランティア教育のための国際会議」に看護師長が出席したことがきっかけで、1973年にYMCAからの呼びかけがあり、ボランティアサークルが発足しました。現在、メンバーは30名余りで、月曜日から土曜日まで1日4~5名が曜日ごとに担当を決めて活動しています。参加にいたる背景は様々ですが、皆さんが同じ熱意を持つていつも笑顔で活動してくださっています。

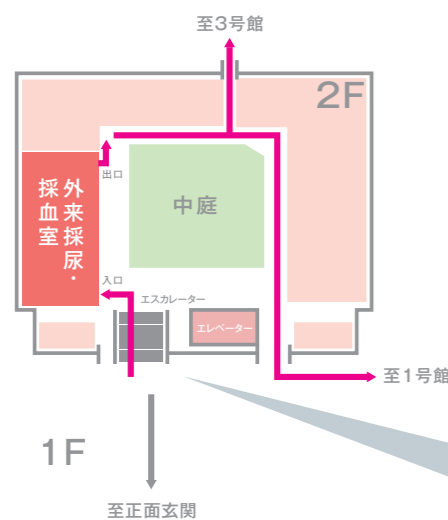


新病院棟の開院後も工事が続き、院内が複雑なため、患者さんのご案内などを丁寧に行っていたり、市販のもののお買い物代行や、市販のものは代替できない小児病棟や救急外来で使用する材料づくりなどの活動も行っていました。

最近では、学生ボランティアの活動も盛んになり、毎年12月に医学部・看護医療学部・薬学部の学生さんによる「サンタ企画」として、病棟や外来で演奏を行ったり、入院患者さんなどにクリスマスカードを配ったりするなどの活動が行われています。また、セラピストによるリフレクソロジーのボランティアもあり、皆さんの様々なボランティア活動により支えられていることに感謝しています。



11月25日に外来採尿・採血室が移転しました。



外来採尿・採血室が2号館2階(これまでの場所の1つ上の階)に移転します。エスカレーターは安全のため2列に並んで立ち止まってご利用ください。



年に1回「ボランティア感謝の集い」を開催し、病院から感謝の気持ちを込めて、感謝状と活動時間に応じたバッジをお贈りしています。



2018年感謝の集い

Information

患者サロン開催予定

がん患者さんとご家族、ご友人を対象としたセミナー・交流会を定期的に開催しています。どなたでもご参加いただけます。(参加費・無料)

開催日	テーマ	講演	交流会	時間
2020年 1月23日(木)	がん治療 お金のことが心配? ～高額療養費と医療費控除～	○	○	14時30分～16時00分
2020年 3月18日(水)	がんを告知された時から運動 ～がんリハビリテーションについて～	○	○	14時30分～16時00分

■ 開催場所: 3号館南棟1階 ラウンジ ■ お申し込み・お問い合わせ: がん相談支援センター 03-5363-3285 (直通) / 平日9時00分～17時00分

カーシェアリングサービスの開始

2019年10月27日より、慶應義塾大学病院正面駐車場においてカーシェアリングサービスを開始いたしました。タイムズカーシェアにご入会后、ウェブやアプリからのご予約で24時間いつでもカーシェアリングサービスをご利用いただけます。詳細は、「タイムズカーシェア」のウェブサイトをご覧ください。(2019年11月現在、利用後は車を出発したステーションに返却する必要があります。他のステーションへの乗り捨てはできません。)



タイムズカーシェアに関するお問い合わせ

【24時間受付】0120-20-5037

「タイムズカーシェア」ウェブサイト

<https://share.timescar.>



1号館開院後も、引き続き移転や工事が続いております。今後も工事に伴い駐車場の収容台数が大幅に減少する予定です。ご来院の際は、公共交通機関をご利用くださいますよう、引き続きご理解、ご協力の程、よろしく願っています。

東京2020オリンピック・パラリンピック 派遣メディカルスタッフ説明会の開催



説明会1日目(9月18日)の様子
大会のビジョンや体制などが説明された

慶應義塾大学病院は、東京2020オリンピック・パラリンピックにおける積極的な医療連携支援のひとつとして、オリンピックスタジアム(新国立競技場)などの会場にメディカルスタッフを派遣します。9月18日(水)と19日(木)の2日間、大会組織委員会と協力し、信濃町キャンパスでオリンピック・パラリンピック派遣メディカルスタッフ説明会を開催しました。

説明会では、今後の研修の進め方や、スタッフとして関わる意義、特殊な場所における医療についての説明がなされました。

今後は、各種研修が行われ、直前には会場別の研修も行われる予定です。また、慶應義塾大学病院救急科のスタッフは、2019年2月に英国に渡航し、大規模競技会場での医療対応経験をもとにした、イベントなどに特化した医療についての研修を受けました。今後の研修で派遣メディカルスタッフ全員にそのノウハウが伝えられます。

〈受付時間・休診日〉

外来診療時間 8時40分～12時00分、13時00分～16時00分

面会時間 (平日) 15時00分～19時00分
(土・休日) 13時00分～19時00分

休診日 日曜日、第1・3土曜日 / 国民の祝日・休日 / 年末年始(12月30日～1月4日) / 慶應義塾の休日(1月10日)

〈診療担当医表〉

このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと診療担当医表がご覧になれます。なお病院入り口脇の電子掲示板にも掲載しています。

